

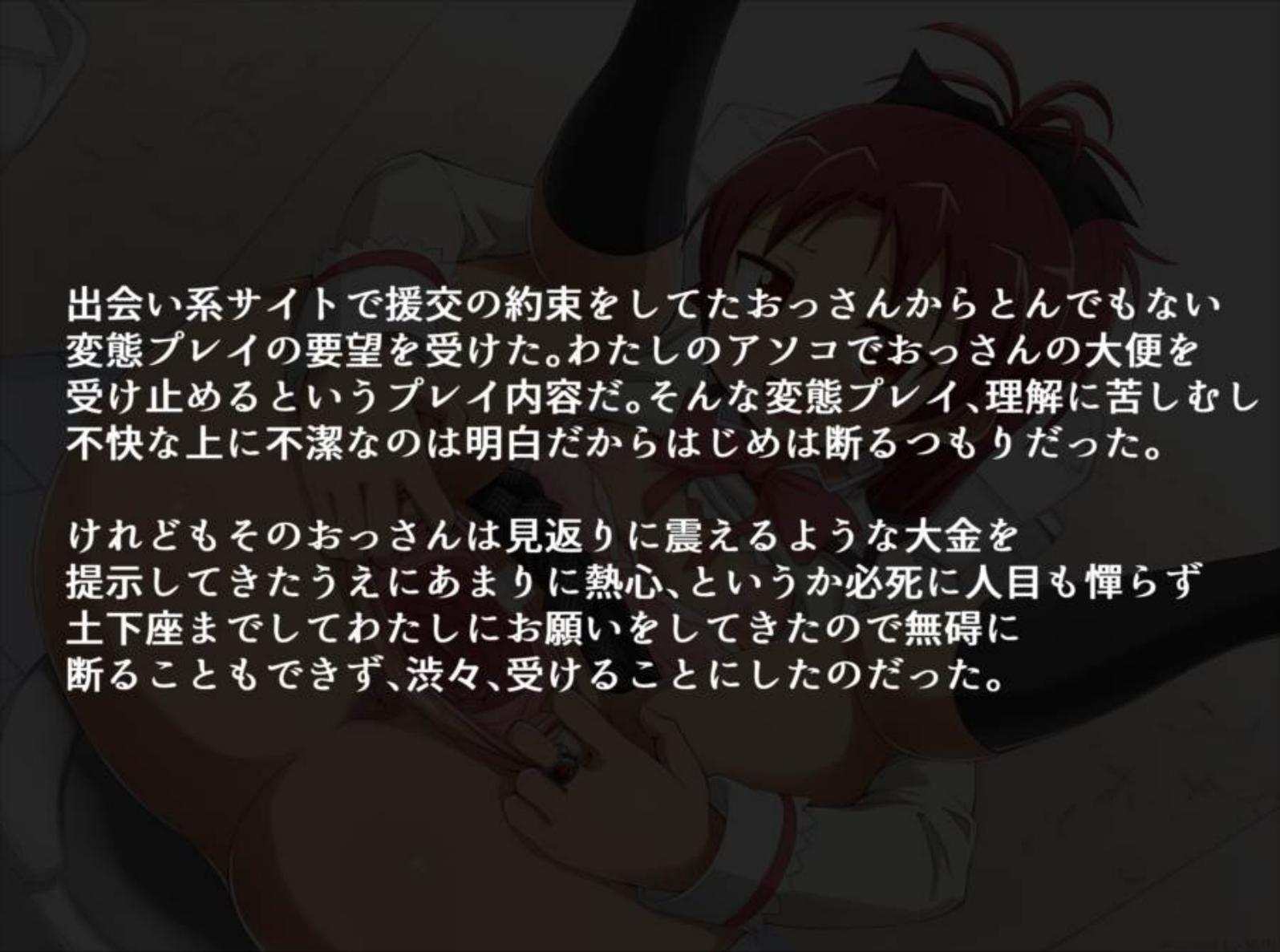
R18

CAUTION KEEP OUT



杏子ちゃん おまんこ汚辱
～大便出産ショー～

CAUTION KEEP OUT



出会い系サイトで援交の約束をしてたおっさんからとんでもない変態プレイの要望を受けた。わたしのアソコでおっさんの大便を受け止めるというプレイ内容だ。そんな変態プレイ、理解に苦しむし不快な上に不潔なのは明白だからはじめは断るつもりだった。

けれどもそのおっさんは見返りに震えるような大金を提示してきたうえにあまりに熱心、というか必死に人目も憚らず土下座までしてわたしにお願いをしてきたので無碍に断ることもできず、渋々、受けることにしたのだった。

これでいいか？

準備できたみたいだね

いっぱい食べて出すのを

我慢してきたから

今日はたくさん出そうだよ……
がんばろうね！杏子ちゃん

ドキ

ドキ

なあ……

ここまでやっておいてなんだけとさ……

何ていうか……今日は時間も時間だしさ

これでいいか？

準備できたみたいだね

いっぱい食べて出すのを

我慢してきたから

今日はたくさん出そうだよ……
がんばろうね！杏子ちゃん

ドキ

ドキ

なあ……

ここまでやっておいてな……

何ていうか……今日は時間も時間だし……

また今度にしお……

ズン

どす……





やっとおあつた……？

ぐず

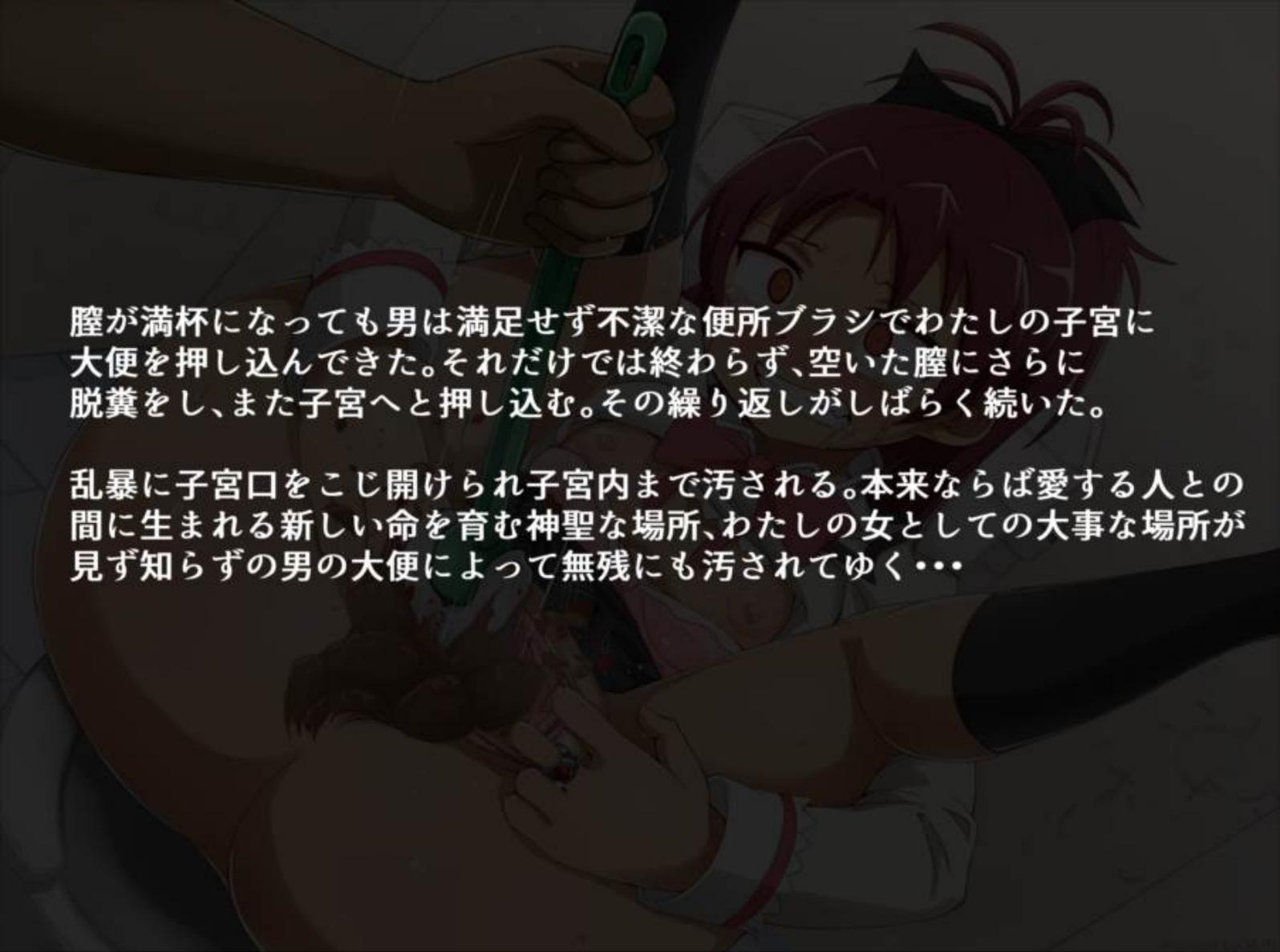
うう……

おっさん どんだけ溜めてたんだっつーのー！



は？ まだ全然出てねーよ!!
もっと呑み込んで!!





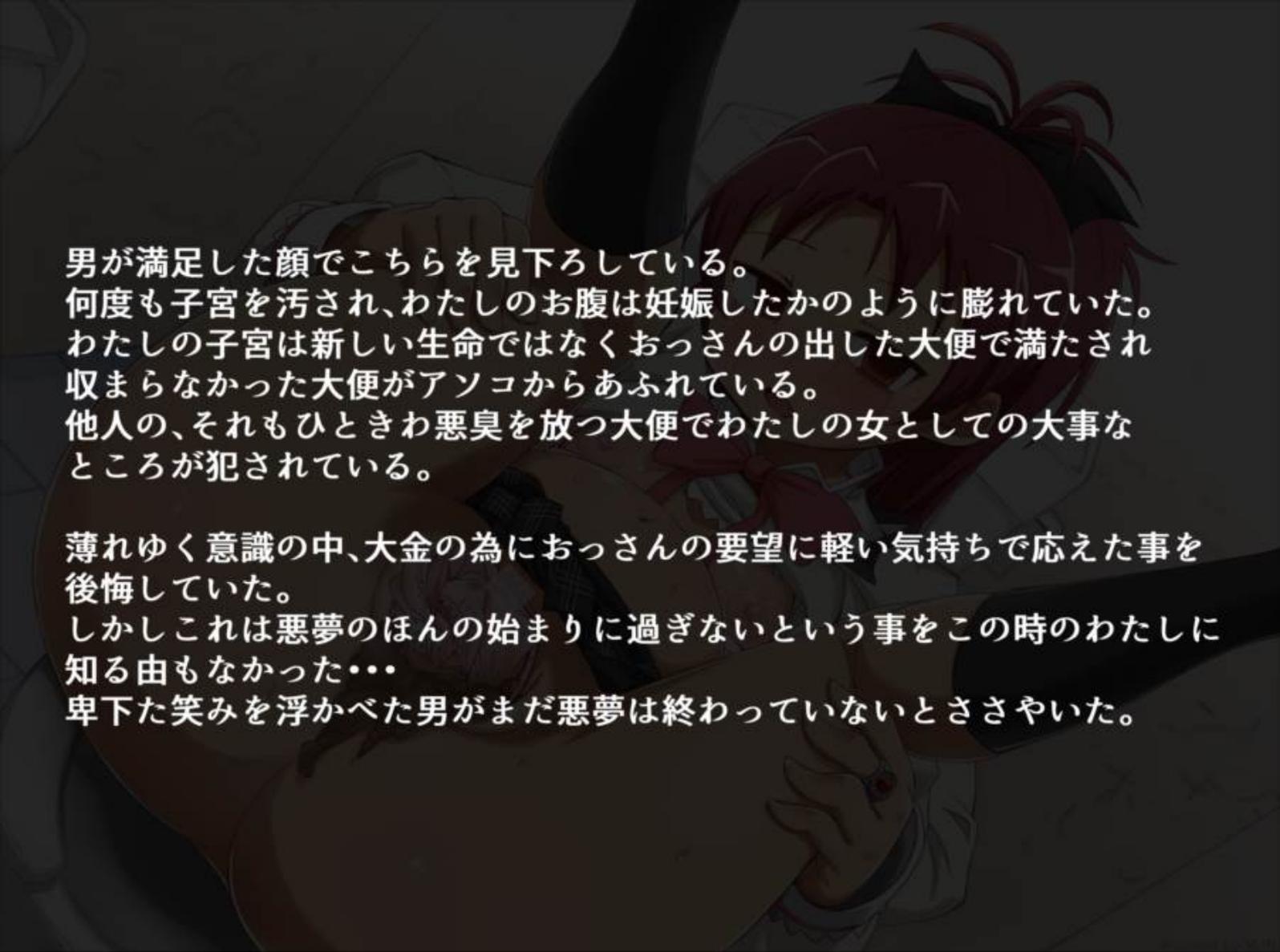
膣が満杯になっても男は満足せず不潔な便所ブラシでわたしの子宮に大便を押し込んできた。それだけでは終わらず、空いた膣にさらに脱糞をし、また子宮へと押し込む。その繰り返しがしばらく続いた。

乱暴に子宮口をこじ開けられ子宮内まで汚される。本来ならば愛する人との間に生まれる新しい命を育む神聖な場所、わたしの女としての大事な場所が見ず知らずの男の大便によって無残にも汚されてゆく…

ふー…
スッキリした。よくがんばったね。
えらいえらい。

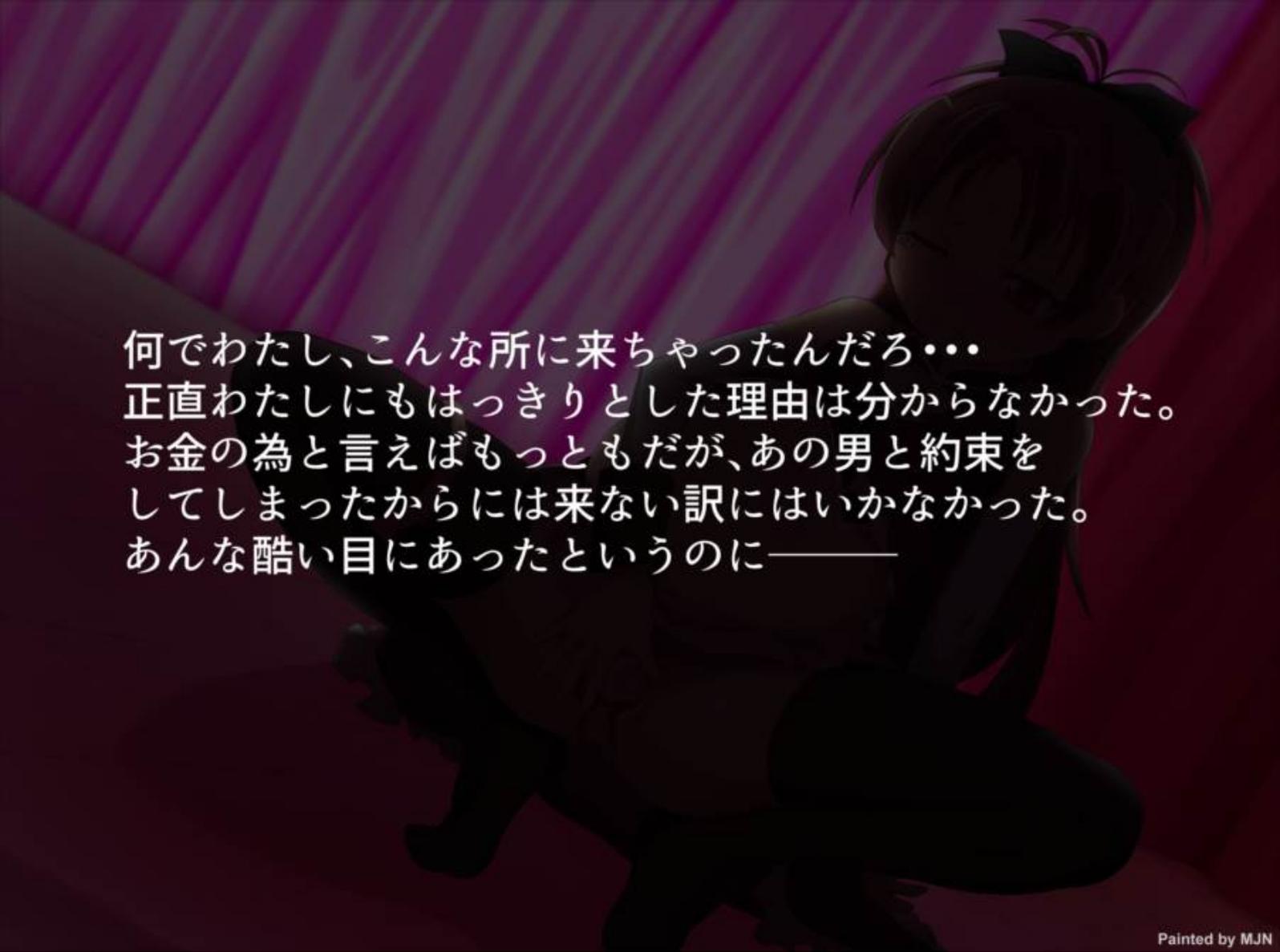
今度もつとお金あげるから
おまんこにうんこ入ったまま〇〇まで来てね。

おじさんの一生のお願い。
来てくれなかったら絶望して死んじゃうかもW
それじゃあ 待ってるよ!



男が満足した顔でこちらを見下ろしている。
何度も子宮を汚され、わたしのお腹は妊娠したかのように膨れていた。
わたしの子宮は新しい生命ではなくおっさんの出した大便で満たされ
収まらなかった大便がアソコからあふれている。
他人の、それもひととき悪臭を放つ大便でわたしの女としての大事な
ところが犯されている。

薄れゆく意識の中、大金の為におっさんの要望に軽い気持ちで応えた事を
後悔していた。
しかしこれは悪夢のほんの始まりに過ぎないという事をこの時のわたしに
知る由もなかった・・・
卑下た笑みを浮かべた男がまだ悪夢は終わっていないとささやいた。



何でわたし、こんな所に来ちゃったんだろ・・・
正直わたしにもはっきりとした理由は分からなかった。
お金の為と言えどもっともだが、あの男と約束を
してしまったからには来ない訳にはいかなかった。
あんな酷い目にあったというのに——



(司会者)

**紳士の皆様！本日は当クラブによろこそお越しいただきました！！
本日のメインイベント、皆様お待ちかねの現役中○生による
出産ショーの時間がやってまいりました！！
このたび、めでたく出産を迎えるのは魔法少女として日々活躍中の
佐倉杏子ちゃんです!!!会場の皆様、どうぞ心暖かい盛大な拍手を！**



(ほら・・・手で隠してたらお客様に見えないよ！
ちゃんと挨拶して！)

っ!!

104

104

104

104



…みちやん、今日は…

あたしのあかちゃんの出産に
お越しいただきありがとうございます…

んんん

んんん

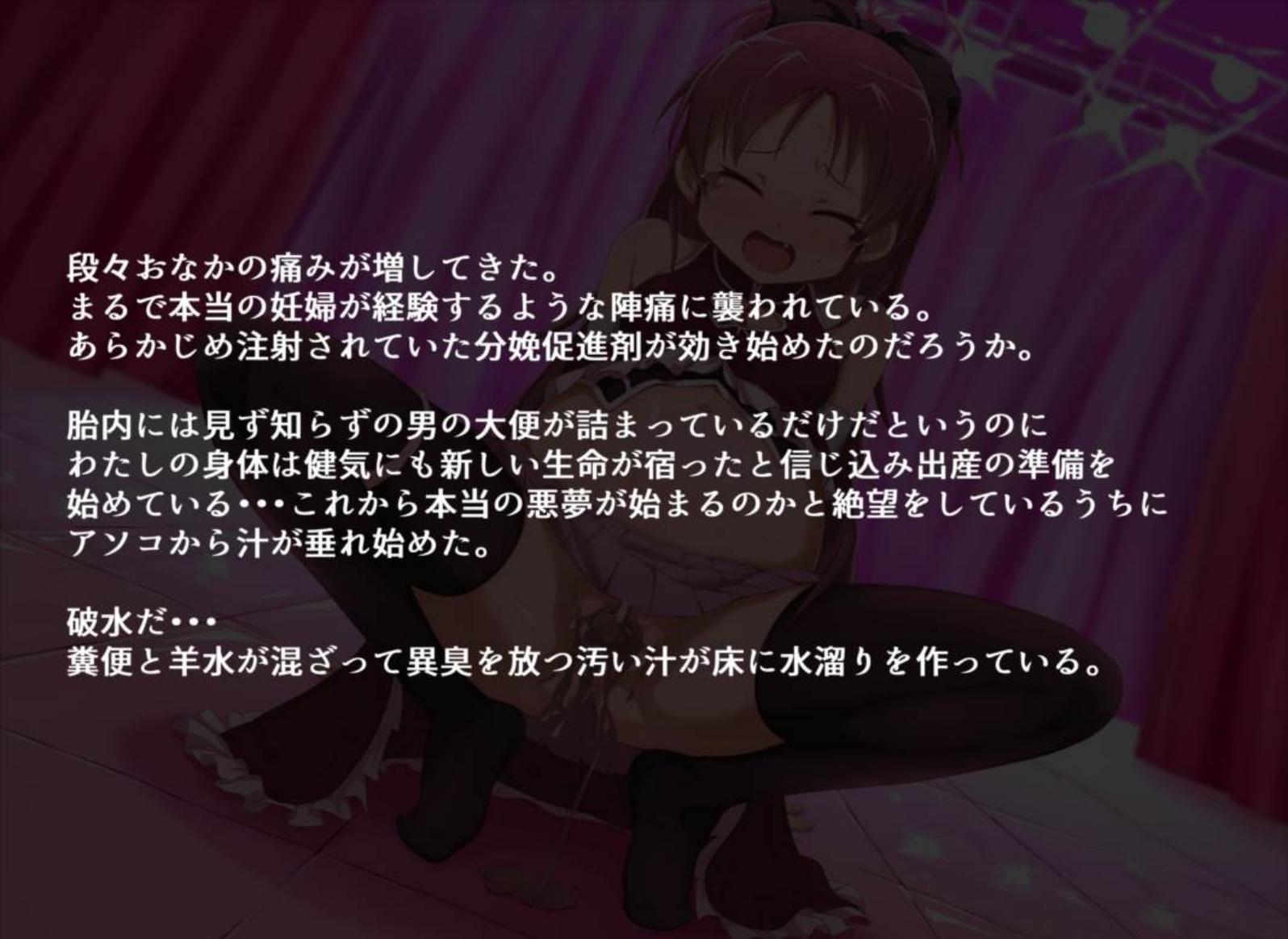
あかちゃんのお父さんは…本イベントの主催者の
○○様です。

がんばっておおきなあかちゃんを産みますので
どうか応援よろしくお願いします。





わたしは事前に用意された台本のセリフをわざと男に媚びるような声で演じる。
そうでもしないとおかしくなってしまうそうだった・・・



段々おなかの痛みが増してきた。
まるで本当の妊婦が経験するような陣痛に襲われている。
あらかじめ注射されていた分娩促進剤が効き始めたのだろうか。

胎内には見ず知らずの男の大便が詰まっているだけだというのに
わたしの身体は健気にも新しい生命が宿ったと信じ込み出産の準備を
始めている・・・これから本当の悪夢が始まるのかと絶望をしているうちに
アソコから汁が垂れ始めた。

破水だ・・・
糞便と羊水が混ざって異臭を放つ汚い汁が床に水溜りを作っている。



(司会者)

皆様!!いよいよです!!

杏子ちゃんが今、立派なお母さんになろうとしています!!

どうか皆様、心暖かいご声援のほどよろしくお願いたします!!









ふうーっ……ふうーっ

わたしは観客たちの声援にあわせて息を整える。

痛あつ……うっ……んっ!!

んんんんーっ

ひっ……ふーっ

ズキ

ひっ ひっ ふらーっ……
ひっ ひっ ふらーっ……
はあ……はあ……あああ……産まれそう……



どれくらいの間、かんだらろうか……
ついにわたしのアソコから男の大便がズルツと頭を出した。

痛あつ!!



ワァァァ!!!
ウオオオオオ!!
ドゥッ
オオオ

それに合わせ観客席から大きな歓声が沸きあがる

ぼとつという音を立て男の大便が床に産み落とされた。

んん…う はあ♡ はあ…♡

んっ♡ フウーっ♡

フウーっ

ヒゅん♡

ヒゅん♡

んんん♡

フウーっ♡

ポト♡

んんん♡



ぼとつという音を立て男の大便が床に産み落とされた。

んん...う はあ♡ はあ...♡

んっ♡

フウーッ

びん

再び観客席から歓声が巻き起こる。

ウオオオオオオオオオオ!!

罵声や応援の声...様々な声が矢のようにわたしに投げかけられる。

オオオ... オオオ... オオオ...
104 104 104 104

一ヶ月前に詰め込まれた大便はわたしの胎内で熟成され
羊水と混じりあい形容しがたい異臭を放っている。

んん…う はあ♡ はあ…♡

おなかの痛みはなおも続いていて、それと同時にわたしは大便が産道を通る際の刺激で不覚にも軽く達してしまい、意識を保つのに必死だった。

何度も意識が遠のきそうになったが観客のヤジが意識を引き留めてわたしを現実に繋ぎ止める。

みるなあ……見るんじゃないよ……

観客も高い見物料を払っているのだ。歪んだ欲望に卑下た笑みと怒り、観客の卑猥な熱を帯びた視線はわたしの無様にも歪んだアソコに集まっている。

そうしているうちに今まで以上の強い痛みが襲ってきた。
いよいよ本番の出産が迫ってきたのだと悟った。

ぐあぁぁぁ!!

はぁ

はぁ

痛!!

いやっ!!
産みたくないうっ!!
痛っ……怖いよ……誰かたすけてっ!!

わたしの意思とは反対に、身体は出産しようと渾身の力で
子宮を痙攣させ、力みさせる。



わたしの奥から何かが生まれようとしている…



長い間いきんだような気がする。おなかの痛みも苦しきも感じない・・・
身体が軽い。遠くで音が聞こえる・・・状況がつかめないままどろう。

そうだ・・・うまれたんだ・・・

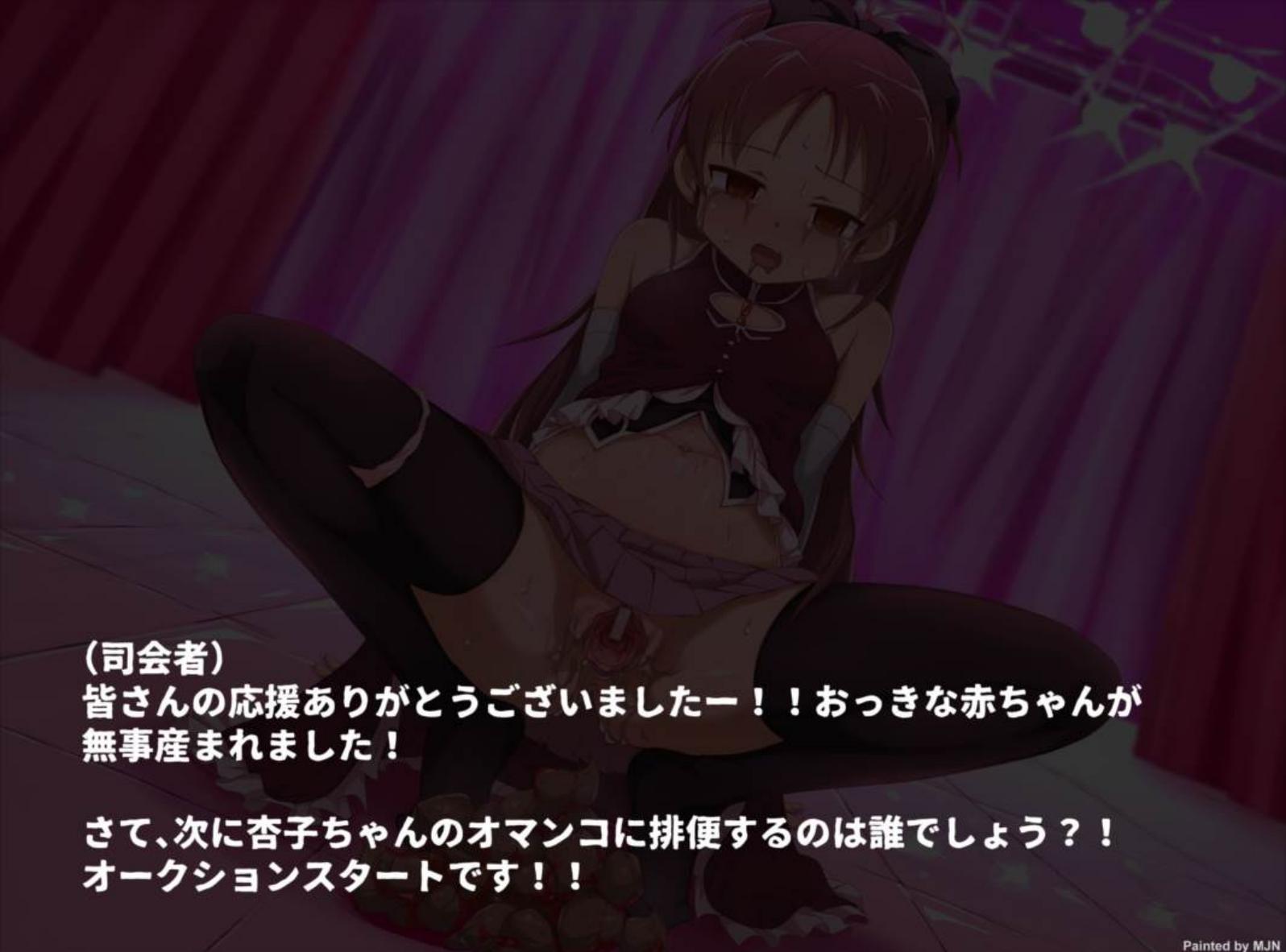


わたしのアソコはだらしなく形を崩し、ひらいたまま
元に戻らず子宮口を観衆の面前にさらけ出している。

強烈な悪臭を発する汚物がわたしの足元に積みあがった。



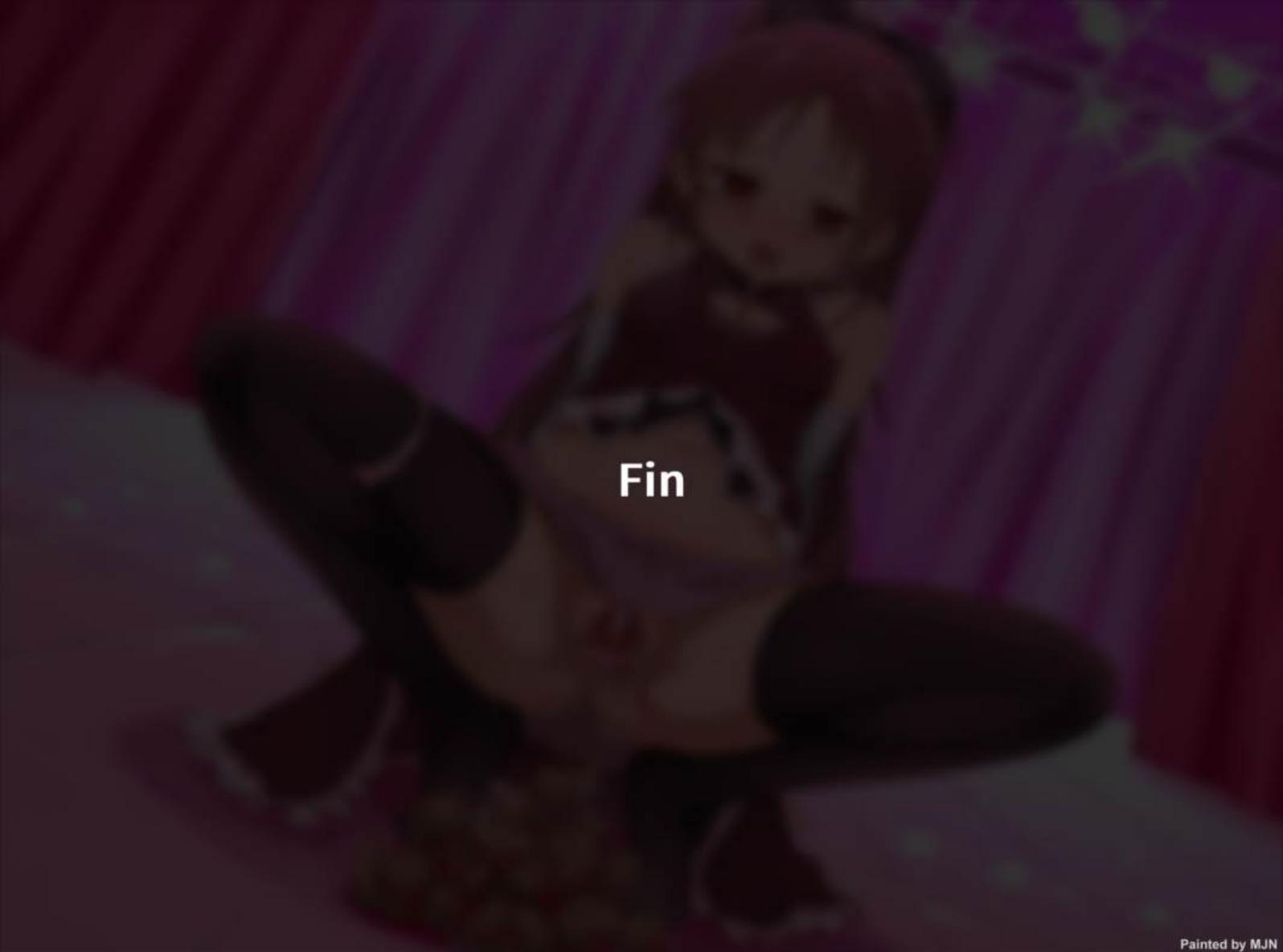
強烈な痛みで脳神経が焼かれたのだろうか…
痛みはいつしか快感に換わっていた。



(司会者)

皆さんの応援ありがとうございましたー！！おっきな赤ちゃんが無事産まれました！

さて、次に杏子ちゃんのおまんこに排便するのは誰でしょう？！オークションスタートです！！



Fin